子ども食堂まつり　長良支部

コロナ禍で子ども食堂での居場所活動が制限され、子どもたちのエネルギーを受け止められずにいましたが徐々に再開し、昨年はクリスマス会、今年は子ども食堂祭りを10月10日に開催しました。親子連れ、初めての子どもたちやボランティアを含め66名の参加がありました。焼きそば、じごくうどん、だんご、ポン爆ぜ、ポップコーンなど手作りの食べ物と同時に子どもたちが主役になれる場をと、子ども大道芸や子ども自身の不要になったものの持ち寄りフリーマーケットなどを開催しました。

久しぶりに活気づいた梅子の家の祭りとなり、私たちが元気をもらいました。

又、「あるだけもってけ」コーナーでは米を中心に日用品等の無料配布は瞬く間になくなりました。

「又、やってほしい」「いつでも遊びたい」「楽しかった」等感想もあり、今後子ども食堂とともに居場所活動の在り方を検討しながら再開したいと思います。

（斉藤）

友の会モルック大会を開催

11月22日、ドーム会場のリフレ芥見を会場に、第1回のモルック大会が開催されました。3人1組のグループ編成で、14チーム（総数41名※1チーム1人欠席）が参加、6つのコートに分かれてトーナメント方式により試合を行いました。モルックを経験されている方も、そうでない方も交じりながら大きな歓声が上がり、白熱した試合も見られました。最初はやや肌寒く感じましたが、試合が進むにつれてそれを感じさせない熱気がありました。

13時半にスタートし、初めての大会ということもあり、ハプニング等もありましたが、怪我もなく約2時間で終了しました。

比較的高齢者の参加と、男性の参加も目立ち活動の広がりのある企画となりました。次回以降、運営上の工夫も加えながら、開催を目指し検討できればと思います。

健康友の会
事務局長　熊崎

優　　勝：野村①（芥見地域）
2　　位：ワカミドリ
3　　位：敬友クラブ
4　　位：長良支部
敗者復活：野村②（芥見地域）
北山・東山Ｂチーム

第36回　みどり健康まつり

10月28日、4年ぶりにみどり健康まつりを開催し、３００名以上の方にご来場いただきました。晴天に恵まれ、舞台では和太鼓の演奏や素晴らしい歌声が披露され、会場を盛り上げていただきました。

横山医師の『糖尿病と感染症』、西尾医師の『膵臓がんのお話』の健康講座には来場者で会場がいっぱいになりました。また、しいのみハウスでは地域の薬局が集まって行った「お薬相談会」も好評でした。

新病院コーナーでは、３Ｄ映像で新病院の紹介や、タイルアートの応募作品の展示がありました。その他、健康友の会藍川支部のカレー販売、農民連の野菜と柿販売、キッチンカーなど19団体がコーナーを開催し、子どもコーナーやスタンプラリーで楽しんでいただくことができ、今年度から新たに取り組んだ福祉用具や体験、高齢者施設の紹介コーナーも盛況でした。

たくさんの方々の協力により、地域の交流を深めることが出来ました。ご来場、ご協力ありがとうございました。又、来年の健康まつりを楽しみにしていてください。

かよう健康まつり

「かよう健康まつり」を11／11土曜日の午後、２０１９年以来4年ぶりに、規模を縮小して（コロナやインフルエンザの感染対策のため）開催しました。当日は天気にも恵まれ、「楽しみにしていたよ」と参加者の笑顔があふれていました。

岩井所長から、この4年間の新型コロナウィルスとのたたかいの経過のまとめと、発熱対応やワクチン接種を通じて、地域の医療的貢献を果たしてきたことが報告されました。健康講座は理学療法士の島崎さんより、「フレイル予防と運動療法」と座ってできる健康体操を参加者全員で行いました。体を動かすとホカホカと温かくなりました。

1階の診療所では、看護師による健康チェックで体組成と骨密度測定を行い、長谷川医師による健康相談や華陽しいのみ薬局からお薬相談、ケアマネジャーによる介護相談など、普段から気になっていた事など気軽に聞ける、華陽診療所ならではのアットホームな場となりました。

お楽しみ企画は妻乱亭遊奈さんによる落語で笑い、「農民連」の有機野菜、果物販売、「なじみのふるさと」の乾物販売、地域の方による安田さんのバザー、森さんのカフェなど、地域のお馴染みさんとのふれあいの大切さを実感しました。

華陽診療所は岐阜民医連発祥の地です。これからも地域のみなさんから頼りにされる存在であり続けるよう、身の引き締まる思いを新たにしました。

2023 ぎふ平和のつどい

藍川地域九条の会　大　塚　研　二

9条を守ろう

11月3日、日本国憲法公布77周年記念「２０２３ぎふ平和のつどい」が岐阜市民会館大ホールで開かれました。11月として史上初めての連続夏日のこの日、昨年を上回る約８００人の参加者が、望月衣塑子さんと白井聡さんの熱意溢れる講演と対談に耳を傾けました。

【「妖怪の孫」とメディアと岸田政権】

望月さんは、「安保三文書決定、戦争できる国へ突き進む岸田政権」と題する講演の中で、「昭和の妖怪」と呼ばれた政治家・岸信介の孫の安倍晋三元総理大臣の「祖父の教え」として刷り込まれた野望を実現しようとした政治姿勢を紐解くドキュメント映画「妖怪の孫」を取り上げ、記者は政権のアンチテーゼを追求すべきだと主張しました。また、メディアが政権批判の役割を果たさず、汚染水の海洋放出、台湾有事などで対中感情を煽り、殺傷能力のある武器輸出や兵器の共同開発を認めるなど、戦争できる国へ突き進む岸田政権をアシストしていることに痛烈な批判を浴びせました。

【アメリカという「天皇」への従属からの脱却を】

白井さんは講演のテーマを「ウクライナ戦争以降の世界秩序」として、日本では「戦争なき世界」というが、周辺では戦争が引き起こされ、それにより大儲けする軍需産業が存在する事実に触れました。さらに、ウクライナ戦争以降、イスラエル・パレスチナ戦争も起き、世界は先進国の終焉を迎え、G7対グローバルサウスが主問題になっているのに、岸田政権は崩れようとするアメリカの意思に従い、アメリカに「貢ぐ」ために大軍拡を進め、日米安保、日米地位協定を日本国憲法の上位におく従属姿勢を批判しました。アメリカという「天皇」のために日本は尽くすべきと考えているこの政権に決別し、戦後日本の対米従属から本気で脱却することが必要だと強調しています。

【平和への道は】

講演を受けて、「なぜ、戦争への準備なのか～平和への道を探る」をテーマにお二人の対談が行われました。レイシズム（人種差別主義）を克服すること、「外交において戦争は最大の失敗」という認識から対話の道を探ること、そのために大切なのは、私たち一人一人が沈黙せずに、意思と主張を語り続け、大きな世論を作りあげようという呼びかけが心に響きました。

【26番目の「憲法9条の碑」】

新聞報道によると、この同じ3日に北海道室蘭市で、「めざすものはただ一つ戦争のない世界」を「憲法9条に託す」との言葉を添えた国内26番目の「憲法9条の碑」の除幕式が行われました。

岐阜健康友の会
公式LINEをやっています！

QRコード

登録方法
① LINEを開く　② ホームを押す　③ 友だち追加を押す
④ QRコードを押す　⑤左のQRコードをかざし「追加」を押す　⑥登録完了！